第12回　三輪山体験教室
伝統の技 しめ縄作りに挑戦してみよう！

（講師協力 しあわせ結ぶ！なわや高橋　高橋伸壽先生）

令和元年12月7日（土）午前9時30分より

於　昭和の間

【拝殿前大注連縄】

【巳の神杉注連縄】

《しめ縄》とは？

神様をおまつりする神聖な場所を示す結界としての意味を持ち、その中に不浄なものが入らないようにする役目も果たすもの。「しめ」には、神様の「占める場所」という意味もあります。
材料・・・稲や麻などの藁、又は、ビニール製のものが使われます。

《しめ飾り》とは？

しめ縄に縁起物などを飾り付けたものを言います。神様の降臨を表す「紙垂」（しで）、清らかさを表す「裏白」（うらじろ）、家系を譲り絶やさず子孫の繁栄を願う「謙り葉」（ゆずりは）、代々栄えるようにと願う「橙」（だいだい）などを飾り付けます。

※ しめ縄と一口に言っても、たくさんの種類があり、とても奥深いのです。

【今回作るリース型しめ縄の見本】

※ここに縁起物を飾り付けます

【南の手水舎大注連縄】

来年が良い年となるように、今回作ったしめ縄をお家に飾り、みんなで開運招福をお祈りしましょう！

参加希望の方はお気軽にお問い合わせ下さい 初めての方 大歓迎です！

詳しくは大神神社「三輪山体験教室係」へ TEL0744-42-6633